

Ⅱ 平成15年度予算案の概要について

1 一般会計

予算総額は、302億5千万円で前年度と比較して、金額で5億5千万円、率で1.9%の増となっています。昨年度は平成3年度以来11年ぶりに当初予算が300億円を割り込みましたが、平成15年度再び300億円台を回復しています。

重点施策といたしましては、前年度に引き続き、福祉・環境・教育を重視するとともに、海老名の顔づくりとしての海老名駅前を中心とした都市基盤整備を明日の海老名を築く先行投資事業として推進してまいります。

厳しい経済状況を受け予算編成は困難を極めました。事務事業の徹底した見直しを行い、事業の緊急性、必要性、継続性を勘案し、直面する課題に対応した予算としています。

(1) 歳入

ア 性質別

① 市税

市民税が個人、法人ともに個人所得の減少、景気回復の遅れなどから対前年度マイナス予算となっていることに加え、平成15年度はじめて固定資産税が評価替えの影響などから減収となることから、市税総額では平成3年度以来12年ぶりに190億円台を割り込み、188億1,305万6千円（対前年度4億8,673万1千円、2.5%減）を見込んでいます。

② 地方譲与税・交付金（利子割、地方消費税、自動車取得税）

地方譲与税に若干の伸びが見込まれますが、利子割交付金及び自動車取得税交付金が前年度に引き続いて大幅に減収となることが見込まれることから、地方譲与税・交付金としては16億9,000万円（対前年度5,100万円、3.0%減）を計上しています。

③ 分担金及び負担金

分担金及び負担金は、支援費制度への移行により障害者に係る施設入所費負担金が全額減となったこと、都市下水路整備に係る負担金の減などから、3億566万5千円（対前年度5,438万2千円、15.1%減）を見込んでいます。

④ 使用料及び手数料

海老名駅東口商業施設のオープンの影響などにより地下駐車場の利用増に伴い使用料収入の増が見込まれることなどから、4億7,137万円（対前年度2,772万円、6.2%増）を見込んでいます。

⑤ 国庫支出金

海老名駅自由通路整備事業などをはじめとする国庫補助対象の普通建設事業費の減に連動して国庫補助金が減額となる一方、生活保護費負担金、児童扶養手当負担金などの大幅増により24億6,666万8千円（対前年度2億6,851万4千円、12.2%増）を見込んでいます。

⑥ 県支出金

保険基盤安定のための保険者支援制度の創設、障害者支援費制度への移行などにより、10億1,572万8千円（対前年度5,638万1千円、5.9%増）を見込んでいます。

⑦ 繰入金

駅周辺整備基金からの繰入金6億4,000万円を含む6億4,381万3千円（対前年度3億8,754万2千円、37.6%減）を見込んでいます。

これにより財政調整基金と特定目的基金を併せた基金残高は、平成14年度末の約53億4,180万8千円から平成15年度末では約47億669万6千円となるものと推計されます。

⑧ 市債

臨時財政対策債11億円、住民税等減税補てん債2億6,100万円を含む25億450万円（対前年度12億3,800万円、97.7%増）を見込んでいます。

これは、通常収支の補てん策として臨時財政対策債の発行可能額が大幅に引き上げられたことに伴うものですが、予算計上は健全財政の維持を図る観点から極力抑制したものとなっています。また、建設事業に充てる市債についても、適債事業に限定したものとなっています。

これにより市債残高は、平成14年度末の約244億8,328万5千円から平成15年度末では約249億899万2千円となるものと推計されます。

イ 自主・依存別

自主財源は、217億1,710万4千円で、金額では対前年度9億8,589万5千円、4.3%の減となり、また、構成比では前年度の76.4%から4.6ポイント低下し71.8%となっています。これは、市税収入及び繰入金の減が主な要因です。

これに対し、依存財源は、85億3,289万6千円で、金額では対前年度15億3,589万5千円、22.0%の増となり、また、構成比では前年度の23.6%から4.6ポイント上昇し28.2%となっています。増の要因としては、市債（対前年度12億3,800万円、97.7%増）、国庫支出金（対前年度2億6,851万4千円、12.2%増）、県支出金（対前年度5,638万1千円、5.9%増）の増が上げられます。

(2) 歳出

ア 目的別

① 総務費

自転車駐車場の整備費など、44億97万9千円（対前年度5,650万6千円、1.3%増）を計上しています。

② 民生費

生活保護被保護世帯の増加、児童扶養手当支給事務の通年実施、社会福祉施設整備費の助成、支援費制度への移行などにより、70億709万5千円（対前年度7億9,480万4千円、12.8%増）を計上しています。

③ 衛生費

小児救急医療体制の整備、高座清掃施設組合の分担金の増などにより、28億941万7千円（対前年度2億1,749万円、8.4%増）を計上しています。

④ 土木費

海老名駅周辺整備事業の減などから大幅に減少し、57億6,592万4千円（対前年度8億4,296万4千円、12.8%減）を計上しています。

⑤ 消防費

前年度の緊急通信設備の更新（事業費3億765万7千円）が終了したことから、16億7,079万8千円（対前年度1億8,715万6千円、10.1%減）を計上しています。

⑥ 教育費

児童数の増加に対応するため、海老名小学校の増改築工事や東柏ヶ谷小学校の増築・耐震補強設計、文化会館大ホールの照明設備の改修工事などを含め、45億91万5千円（対前年度5億6,021万4千円、14.2%増）を計上しています。

⑦ 公債費

過去に発行した市債の償還が進むとともに、償還利子が減少していることから、29億1,648万8千円（対前年度1,953万5千円、0.7%減）を

計上しています。

イ 性質別

① 義務的経費

人件費については、退職者不補充による職員数の減や人事院勧告の実施により対前年度6,566万8千円、0.8%減の78億2,992万5千円となっています。また、公債費についても対前年度1,953万5千円、0.7%の減となっています。

一方、扶助費については、生活保護費の伸びが著しく、児童扶養手当支給事務の通年実施、障害者支援費制度への移行などにより、対前年度5億6,957万8千円、21.9%増の31億7,047万4千円となっています。

こうしたことから、義務的経費としては、対前年度4億8,437万5千円、3.6%増の139億1,688万7千円となっています。

② 消費的経費

物件費については、事務経費の節減などにより対前年度3,233万7千円、0.6%減の50億8,435万5千円となっています。

維持補修費については、施設の機能維持を確保しつつ極力節減を図ったことから、対前年度562万3千円、1.8%増の3億2,417万9千円となっています。また、高座清掃施設組合への分担金が増となっていることから、補助費等が対前年度1億3,288万8千円、5.5%増の25億6,637万4千円となっています。

その結果、消費的経費としては、対前年度1億617万4千円、1.3%増の79億7,490万8千円となっています。

③ 投資的経費（普通建設事業費）

海老名駅周辺整備事業の減などから減少し、対前年度9,138万4千円、1.9%減の47億5,507万3千円となっています。

④ その他

繰出金は対前年度9,665万6千円、3.3%増の30億5,059万円となっています。積立金は対前年度849万9千円、49.4%減の870万1千円、投資及び出資金は対前年度882万2千円、84.0%減の168万1千円、貸付金は対前年度2,850万円、5.5%減の4億9,216万円といずれも減となっていますが、繰出金の増が大きいことから、その他の経費としては対前年度5,083万5千円、1.4%増の36億313万2千円となっています。

2 特別会計

4 特別会計の総額は、対前年度2億5,731万5千円、1.5%増の178億9,061万4千円となっています。

(1) 国民健康保険事業特別会計

75億6,992万5千円（対前年度5億4,829万6千円、7.8%増）を計上しています。

医療費が年々増加している一方で、被保険者に担税力の弱い者を多く抱えており保険財政は厳しいものがありますが、一般会計からの繰入金 of 安易な増額は限界となっていることから保険税率の引き上げはやむを得ないものとなっています。

医療保険制度の長期的な安定を図る観点から、医療費の適正化事業や保健事業を実施します。

(2) 下水道事業特別会計

27億5,907万2千円（対前年度1億9,926万4千円、6.7%減）を計上しています。

上下水道料金一括納付制度への移行により収納率のアップが期待されます。市街化区域内の未整備地区が減少していることから、今後は既設管渠の維持補修や損傷箇所の補修に重点を移すとともに、市街化調整区域での整備に向けた市民意識調査を実施します。

(3) 老人保健医療特別会計

48億3,445万円（対前年度2億15万6千円、4.0%減）を計上しています。

急速な高齢化の進展や医療技術の進歩に伴い、老人医療費は年々増加していますが、昨年実施された医療保険制度の改正によりマイナス予算となっています。今後も医療費の適正化を図りつつ、安心して良質な医療が受けられる体制を確保してまいります。

(4) 介護保険事業特別会計

27億2,716万7千円（対前年度1億843万9千円、4.1%増）を計上しています。

介護保険事業計画を改訂する中で、6段階の保険料を設定することで低所得者の負担軽減を図ります。

Ⅲ 主要事業の概要

(単位 千円)

課等名	施策	事業概要	事業費
1 地域情報推進課	【充実】 地域情報化の推進	公共施設に情報端末を設置します。 15年度 柏ヶ谷、大谷、中新田各コミセン、運動公園 (14年度 市役所、図書館、有馬図書館、上今泉コミセン)	11,590
2 行政課	男女共同参画の推進	男女共同参画の推進を図るため、情報誌の発行やコミセンなどでセミナーを開催するとともに、市民意識調査を実施します。	621
3 財政課	【新規】 ゼロエミッションの推進	ISO認証取得の一環として本庁舎からごみとして排出しているものの分別を徹底し、全品目の資源化を目指します。 RDF視察、事前協議、屑入れの設置等 平成15年度目標 資源化率 85.9%	4,119
4 市民活動課	【新規】 立体自転車駐車場の整備	国土交通省道路局の補助を得て、海老名駅東口に立体自転車駐車場を整備します。 収容台数 702台	237,530
5 環境保全課	【充実】 ISOの認証サイトの拡大等	ISO14001による環境マネジメントシステムを維持、運用します。15年度は次の活動に取り組みます。 1 内部環境監査委員養成研修 2 審査登録機関によるサーベイランス 3 市内民間企業の認証取得支援 4 認証取得サイトの拡大 (消防署・南分署・北分署、資源化センター、リサイクルプラザ、文化会館、中央公民館、市内全公園)	1,484
6 障害福祉課	障害者施設訓練等の支援	身体障害者や知的障害者が、支援費制度の下で必要な施設訓練等が受けられるよう助成し、福祉の向上を図ります。	341,553
7 障害福祉課	障害者居宅生活の支援	身体障害者や知的障害者が、支援費制度の下で居宅において必要な生活支援サービスが受けられるよう助成し、福祉の向上を図ります。	178,138
8 障害福祉課	【新規】 精神障害者施設の運営費の助成	精神障害者の自立と社会参加を支援するために(社福)県央福祉会の開設するサポートステーション「コンパス」の運営費を助成します。 海老名、座間、綾瀬、大和の4市で助成	30,925
9 障害福祉課	【充実】 福祉タクシー助成制度の拡充	給付対象に精神障害者を加え制度の拡充を図ります。 精神障害に係る利用対象者 80名(想定)	19,748
10 障害福祉課	【新規】 知的障害者施設整備費の助成	(社福)星谷会が16年度に開設予定の知的障害者通所授産施設「えびな通所授産施設(仮称)」の整備に対し、助成を行います。 また、(社福)青木末次郎記念会が開設予定の精神障害者短期入所施設「ファルトハイム厚木」の整備に対し、助成を行います。	43,898
11 高齢福祉課	【充実】 介護予防のための相談体制の充実	地域型在宅介護支援センターの人員配置を2名体制とし、高齢者の相談体制を充実します。	45,958
12 高齢福祉課	【新規】 グループリビングへの支援	NPO法人COCOありまの運営するグループリビングに対し次の支援を行います。 1 支援プログラムの作成・調整 2 近隣住民、ボランティア団体による各般の支援体制の構築	40,586
13 高齢福祉課	【充実】 生きがいデイサービスの充実	生きがいデイサービスの実施場所を5箇所から6箇所へ増設をします。 柏ヶ谷コミセン、国分寺台文化センター、わかば会館、社家・本郷コミセン、杉久保コミセン、(新)北部体育館	29,939
14 高齢福祉課	介護老人福祉施設の整備費の助成	前年度に引き続き、特養さつき(53床)の整備に対し、助成を行います。 14年度出来高17%、15年度出来高83%	119,222
15 障害福祉課	【充実】 医療費助成制度の拡充	給付対象に精神障害者を加え制度の拡充を図ります。	230,579

(単位 千円)

課等名	施策	事業概要	事業費
16 児童福祉課	【充実】 子育て支援の充実	若年齢の保護者の子育てを支援するため、新たに次の事業を実施します。 1 ずくずく子育てランチタイム講座 2 子育てシリーズの冊子化、配布	11,251
17 児童福祉課	【新規】 一時保育への支援	私設保育施設の実施する一時保育に助成を行います。	46,742
18 児童福祉課	【新規】 民間保育所整備費の助成	社会福祉法人寿会の「つちのこ保育園」の施設整備の助成を行います。(認可施設に移行)	25,652
19 児童福祉課	【新規】 母子家庭への支援	母子家庭等の生活を支援するため、新たに次の事業を実施します。 1 母子自立支援員の配置 2 母子家庭等日常生活支援事業の実施	5,316
20 児童福祉課	【充実】 保育時間の延長	保育時間を延長し、12時間保育を実施します。 現行 7:30a.m.-6:30p.m. 改正 7:00a.m.-7:00p.m.	157,306
21 予防保健課	【新規】 小児救急医療体制の整備	海老名、座間、綾瀬3市による広域的な小児救急医療体制を整備します。	110,670
22 予防保健課	生活習慣病・歯科健診の推進	生活習慣病検診については、老人保健法に基づく各種集団検診、施設検診を実施するとともに、歯科健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療による医療費の削減を図ります。 なお、平成15年度から基本健康診査の検査項目として胸部レントゲン、心電図を必須とします。	116,224
23 資源対策課	【新規】 粗大ごみ手数料のシール化	粗大ごみ手数料のシール化を図り、事務処理を簡素し、市民サービスの向上を図ります。	37,887
24 資源対策課	【新規】 ごみの削減化に向けた調査研究	環境市民会議からの提言を受け、ごみ50%削減に向けて生ごみ等減量化のための調査研究を行います。	6,723
25 商工課	【新規】 創業者や経営者への支援	創業塾・経営塾を開催し、創業者や経営者の事業成功に向けた知識の習得や育成などの支援をします。 1 創業塾 2 経営塾	26,361
26 商工課	【一部新】 中心市街地の活性化	中心市街地の活性化を図るため、次の事業を行います。 1 海老名プレミアム映画祭の開催 2 海老名駅東口企業送迎車両ターミナル(E-CAT)の舗装整備	14,710
27 商工課	【充実】 地域活力の創出	地域活力の創出を図るため、次の事業を行います。 1 ウィンターイルミネーション 2 えびな彩フェスティバル 3 白石物産展、ほおずき市、朝顔市、風鈴市等の開催	20,450
28 道路整備課	歩道整備の推進	歩行者、交通弱者への安全な通行を確保するため、歩道を設け歩車道を分離することにより、誰もが安心して通行できる道路整備を行い、人にやさしいまちづくりに向けた基盤整備を行います。	77,500
29 道路整備課	生活道路の整備	市民生活に密接な生活道路の拡張改良舗装整備を行い、市民生活の安全及び生活環境の向上並びに地域間の利便性の向上を図ります。	55,500
30 駅周辺整備室	鉄道立体交差	小田急鉄道立体交差事業を実施します。 (平成19年度完成)	889,215

(単位 千円)

課等名	施策	事業概要	事業費	
31	駅周辺整備室	【新規】 側道の整備	小田急鉄道立体交差事業に併せて仮線及び工事ヤードとして必要となる用地のうち、鉄道高架完成後に側道用地となる土地を取得します。	185,021
32	都市計画課 (H15年4月 企画政策課 から移管)	【新規】 コミュニティバスの試験運行	前年度から市民参加で検討してきたコミュニティバスの試験運行を行います。 市役所～海老名駅～国分南～国分北～北部公園	17,898
33	公園緑地課	公園整備(その1)	市街化区域に残る貴重な緑地空間である伊勢山自然公園の緑を保全し、誰もが身近に自然と触れ合うことのできる公園として整備工事を行います。	57,217
34	公園緑地課	公園整備(その2)	都市の緑地空間を守り、やすらぎのある快適で安全な都市環境を創出するため、緑地わんぱく公園等の整備・補修工事を行います。	82,606
35	駅周辺整備室	駅自由通路の延伸	平成15年度・16年度の継続事業として海老名駅自由通路(中央三丁目方面)の整備を行います。	118,785
36	消防総務課	はしご車の更新	老朽化したはしご車を更新し、消防力の強化を図ります。 本署15m級(現有車両は、昭和62年度購入)	70,150
37	防災課	【充実】 防災備蓄倉庫の設置	国分コミセンと国分寺台文化センターに防災備蓄倉庫を設置します。また、北部体育館備蓄倉庫の改修を行います。	18,333
38	防災課	【充実】 防災情報の提供	自動販売機情報提供システムを充実するため、設置箇所を増設します。 14年度 小田急海老名駅、北部体育館、総合体育館 15年度 柏ヶ谷、大谷、中新田各コミセン	6,352
39	指導室	特別支援教育の充実	海老名市特別支援教育基本方針に沿って、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒への教育活動の充実に努めます。	21,901
40	指導室	【充実】 ひびきあう教育の推進	ひびきあう教育の推進を図ります。15年度は新たに次の内容を加えます。 1 教育支援ボランティア推進校の指定(1校) 2 実践的校内研究(19校) 3 研究指定校の指定(3校)	7,266
41	教育総務課	【新規】 上星小学校校舎の耐震補強	1館校舎(昭和47年)の耐震補強工事を行います。 15年度 設計委託 16年度 工事	7,067
42	教育総務課	海老名小学校校舎の増改築	西棟増改築事業(H14-15継続事業) 15年度 増改築工事・併行防音工事	649,686
43	教育総務課	【新規】 東柏ヶ谷小学校校舎の増築、耐震補強	増築及び1棟校舎(昭和50・53年)の耐震補強工事を行います。 ・ 増築 15年度 増築実施設計、併行防音設計委託 16年-18度 増築・併行防音工事 ・ 耐震補強 耐震診断再検討、耐震診断	16,477
44	文化財課	【新規】 史跡文化財の活用	史跡文化財を広く活用するため、次の事業を行います。 1 誘導サイン表示方向板設置(農協本所付近) 2 史跡文化財案内ボード張替え(市庁舎1階)	800
45	生涯学習課	文化会館大ホール調光設備等の改修	文化会館の施設機能の維持を図るため、次の改修を行います。 1 大ホール調光設備改修工事(H14-15年度継続) 2 大ホール棟楽屋等付属施設改修工事 3 大ホール棟建物防水補修工事	136,772